

Spiricon 使用法

基本的操作

1. パソコンを立ち上げる .
2. カメラをつないだ後 Spiricon のソフトを立ち上げる . (1 ~ 2 時間ウオームアップ)
3. 光軸を合わせる . (2D で Live Video を使用) (透過光はダンパーに , 通常はパワーメータ)
4. レーザ光を遮断して , Ultracall でキャリブレーションをする (10 ~ 15 ごとに再実行)
左下の「U」が緑色になればOK .
5. Auto Aperture を選択 (もしくは Drawn で本来のビーム径の 2 倍程度に)

シングルモードのビーム径の測定

1. Ultracall と Auto Aperture を設定
2. Beam width method で 90/10 (もしくは 86.5%) Knife edge を使用

ゲインの調整 (File - Generate Gain)

1. カメラへのレーザ光を遮断した状態で実行すること .
2. 緑色になっていればよい
3. セーブも可能

その他

- Energy of Beam で単位を選択した後 , パワーメータで測定した値を入力
- Beam カラーに Gray Scale や Green 有り
- Centroid は重心 , Peak は Peak でビームのセンター位置を求める .
- Video Trigger 使用時の解像度は 256 × 240 以下 , ピクセル数は 128 以下であること .
- トリガーレベルは 32 から始める
- フレーム平均は 16 ~ 25 程度に
- File - Logging で画像及びデータを連続的に記録
- Camera Frame Rate を Capture Interval で割ったものが 1 秒間のフレーム数
- File - Config.... セーブしておくが良い
- Capture で Continuous 使用時の Interval は 1 (セットアップ時)
- パソコンディスプレイの解像度は 1024 × 768 以上が良い
- タイトルバーをダブルクリックでフレーム名を入力
- ディスプレイウインドの Light Gray Area で左ダブルクリップをすることによりハードウェアズーム
- ディスプレイウインドの Light Gray Area 以外で左ダブルクリップをすることによりハードウェアズーム
- ディスプレイウインドの Light Gray Area で右ダブルクリップをすることによりソフトウェアズーム
- ディスプレイウインドの Light Gray Area 以外で右ダブルクリップをすることによりソフトウェアズーム
- ズームでプリントゾーンも変わる ?
-

- ・位置合わせには Live Video を使用
- ・透過した光にはダンパーを用意（通常はパワーメータなど）
- ・Ultracall でキャリブレーションをする 左下の「U」が緑色になればOK
- ・アパーチャはビーム径の2倍程度
- ・

Lee Laser

CW

ND 3+2+1

17.9A – 15W

Beam 径 1.478mm

Present Peak 13.6

Q-switch

ND 4+1+0.7+0.3

17.9A – 10kHz

Beam 径 1.478mm

Present Peak 13.6

Quantel

Delay 5.5

10mW

ND:3

Delay 9

2.0W

ND:1+3+0.3